

令和4年度 第3回徳島県南部地域医療構想調整会議 議事録

日 時：令和5年1月16日（月）19：00～19：45

場 所：（Web開催） ※事務局等は県庁1105会議室

出席者：出席25名

協議事項(1) 徳島県立海部病院の公立病院経営強化プランについて

（議長）

それでは、議事に移らせていただきます。

協議事項に入る前に、事務局より本日も含めた本調整会議の今後の協議予定について、改めて、説明をお願いします。

（事務局）

資料1により説明

（議長）

それでは、協議事項1の「徳島県立海部病院の公立病院経営強化プラン」について、海部病院からご説明をお願いいたします。

（海部病院）

資料2により説明

（議長）

ありがとうございました。それでは、これより協議に入ります。

海部病院からのご説明について、御意見・御質問はございませんか。

海部郡医師会から何か御意見ございませんでしょうか。

（委員）

はい。海部病院は県南の中核病院でありますので、海部病院の経営的な安定というのは皆が望んでいるところがございます。

医師の確保というところがやはり問題になってくるところでございますけども、寄附講座とか上手に使われながら運営されているところと思います。

ここ最近はコロナ感染症と相まってますので、なかなか思うような運営がなされないということだと思っておりますけれども、我々も協力できるところはできるだけ協力して、継続していかないといけないと思っております。どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

（議長）

ありがとうございました。それでは、私のほうから1つお伺ひしたいことがございます。

もちろん今どこの病院もそうなのですが、医師の確保が大変難しい状況でありまして、特に海部病院としては、県南の中核として是非その点について、県と一緒に医師の確保という点について頑張っていたらと思うのですが、在宅療養支援病院として自ら在宅医療を行うというふうにおっしゃられておりましたけども、これは具体的にはどういうことなのでしょうか。

(海部病院)

我々のところは公立病院としましては割と早い時期に訪問看護、訪問診療、訪問リハに取り組んで参りまして、実績としては次第に増加している状態です。

公立病院が在宅での支援を目指す利点としては、特に悪化時の入院がスムーズであるとか、在宅への復帰がスムーズであるとか、あるいは病院の専門的な治療が在宅に持ち込めるとか、そういった利点があります。

特にコロナ禍におきましては在宅での医療の需要が非常に高まっておりまして、最近では入院中に面会制限があることもあって在宅でのお看取り件数が増加しております。今後もこの方面は更に展開していきたいと考えております。

(議長)

県立病院がどこまで民間の医療機能に入っていくかというところと重なるところもあるかと思うのですが、海部病院の場合は地域性もありますので、そういう方向で考えておられて実績もあるということ。

(海部病院)

医師会の先生方とも連携しての取り組みでございます。

(議長)

はい。どうぞよろしく願いいたします。

他に質問はございませんでしょうか。

(各委員)

質疑なし

(議長)

それでは、徳島県立海部病院の「公立病院経営強化プラン」については、調整会議として合意することとしてよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし

(議長)

ありがとうございました。

協議事項(2) 阿南医療センターの病床再編計画（介護療養病床の転換方針）について

(議長)

続きまして、協議事項2の「阿南医療センターの病床再編計画（介護療養病床の転換計画）」に移りたいと思います。それでは、阿南医療センターよりご説明をお願いいたします。

(阿南医療センター)

資料3により説明

(議長)

ありがとうございました。

それでは、これより協議に入ります。阿南医療センターからのご説明について、御意見・御質問はございませんか。

(議長)

ございませんでしょうか。阿南市医師会の立場といたしましては、先日、院長より説明を受けまして、この点については医師会としては了承するというので、調整会議の場で皆さまの御意見を賜るということとしたところですけども他の先生方何かございませんでしょうか。

(委員)

もともと慢性期として計画されていた50床のうち、37床を一般急性期ということなんですけれども、今後の病床計画、病床機能の配置計画において、これで例えば県の計画と矛盾するところはございませんか。急性期病床を増やすような形になるのですけども。県のほうから御回答いただけますか。

(事務局)

はい。直近の病床機能報告の数字を比較させていただきますと、南部圏域におきましては、2025年の急性期の必要病床量514床に対してまして、現状、597床との報告をいただいております。

このため、数だけを比較いたしますと、過剰とされている病床機能への転換ということになりますけれども、必ずしもこの必要病床量へピッタリ合わせていくというのではなく、地域の実情に応じて、という議論になってこようかと思っております。

県のほうといたしましては、阿南医療センターの方針につきまして、地元の阿南市医師会とも協議をされた上での御提案とお聞きしておりますので、この転換方針については、地域の実情を踏まえた対応であるものと考えております。

(議長)

ありがとうございました。この点についてはよろしいでしょうか。

(委員)

はい。地域の実情というのは日々刻々という大げさですが、時の変化によって変わっていくもので

すので、何よりも地元の医師会等の合意もあるということですので、とりあえずはいいとは思いますが、今後はやはり、高度急性期、急性期病床の本来あるべき病床数というのは継続的に検討していく必要があると思いますので議事録として記録しておいていただきたと思います。

(議長)

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

(各委員)

質疑なし

(議長)

それでは、阿南医療センターの「病床再編計画」については、調整会議として合意することとしてよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし

(議長)

ありがとうございました。

それでは、委員の御意見も踏まえまして、将来に対しては人口減少の問題もございますので、刻々と変わっていくとは思いますが、今回の阿南医療センターの「病床再編計画」については、調整会議として合意することといたしました。

本日の協議事項はすべて終了いたしました。その他何でも結構ですので、御意見等はございませんか。

(議長)

それでは、他に御意見等もないようですので、事務局にマイクをお返しします。

(事務局)

最後にお礼とお願いをさせていただきます。と思っております。

本日も御議論いただき本当にありがとうございました。そして、今のコロナ、インフルエンザ同時流行という状況下で本当に皆様方にも大変御協力いただいているところです。

そして今の状況についてお礼を申し上げますとともにお願いがございます。今、本当にコロナ、コロナ以外関わらず救急入院後、回復期の方が急性期病院や高次病院から転院できず、病床が空かないために救急受け入れ困難となりまして、本当に悪循環になっている状況でございます。

特にコロナ後、そして一般の方ともになんですけれども、回復期の方を受け入れてくださいますよう、なんとか地域の医療機関の皆様方の御協力を、更なる御協力をお願いしたいというところでございます。今、介護度、看護度の高い超高齢者の方、特に自宅の方が転院できず、病床が空かずに入院も特に救急受け入れが厳しくなっておりますので、まさにコロナだけでなく今日の議論もありましたように、平時から高度急性期、急性期、回復期、慢性期、そして施設含めた在宅などの更なる連携と役割分担を皆様

方の御協力のもと、何とかお願いするということでは、これは地域医療構想、単なるベッド数の数合わせの議論だけではなくて、まさに地域包括ケアと地域医療構想の取り組み推進とは方向性として一致しているものと考えております。

今、今日現在なんですけれども、県南部では特にコロナも一般救急も受け入れていただいている本日御参加の海部病院、阿南医療センター、そして徳島赤十字病院が大変な状況となっております。そういうふうには聞いているところです。その周辺の医療機関も大変と思うんですけれども、何とかこの転院受け入れ、更なる御協力をお願いします。

そして地域包括ケアの中で、これと別に今ACPですね、アドバンス・ケア・プランニング、人生会議への取り組みが特に施設、高齢者施設の中での取り組みが遅れている印象があります。これはかかりつけ医、嘱託医の先生が、特に医師会の先生方が中心となっていただいて、御本人も御家族、そして施設の職員の皆様と共に人生会議の時間を持っていただくということを何卒お願いいたします。

このコロナにおいても皆様御多忙だと思いますけれども、まさにかかりつけ医、嘱託医の先生方ならでのことと思っております。医師会の皆様、そして市町村、医療保険・福祉・介護関係者の皆様の地域包括ケアの推進への御理解、御協力のほどをお願い申し上げまして、私からお礼とお願いをさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。本日もどうもありがとうございます。

(事務局)

委員の皆さま、本日はスムーズな議事運営に御協力いただき、ありがとうございました。

以上で、本日の議事を終了いたします。なお、3月頃には今年度の第4回の会議を開催させていただきたいと考えておりますので、また改めて御案内をさせていただきます。

本日は大変お世話になりました。